

令和3年3月1日公表

令和2年度 第2回金沢支社入札監視委員会 定例会議議事録

開催日及び場所	令和2年12月22日(火) 金沢支社会議室	
出席委員 (敬称略。委員については、50音順。)	委員長：檜見 由美子(学校法人稲置学園 監事) 委員：荒井 克彦(福井大学 名誉教授) 岡田 進(岡田法律事務所 弁護士) 橋詰 武宏(丹南見聞録 コーディネーター) <高山純一委員(金沢大学 名誉教授)、山下義順委員(北陸経済連合会専務理事)はご欠席>	
審議対象期間	令和2年4月1日～令和2年9月30日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
工事(一般競争入札)	1件	
工事(指名競争入札)	1件	
工事(個別契約)	1件	
調査等(指名競争入札)	1件	
物品・役務(一般競争入札)	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	(別紙のとおり)	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	今回の審議案件、説明事項に問題なし。以下の2点を申し述べる。  ①入札参加者が1者とか参加者が全くない、あるいは低入札など、望ましくない状況が見受けられる。これまでも競争性を確保するために努力して改善状況にあることは認識しているが、1者入札など多くの会社が入札に参加しない場合は原因究明のためにヒアリング等を実施していただきたい。  ②災害復旧のための工事では、工事着工の緊急性かつ必要性の観点から入札を実施せず、予め災害応援協定を締結している会社に発注することに問題はないと考える。ただ災害応援協定を締結する際に相手先に求める要件や、一般の入札において災害応援協定の締結が加点要素となっていることが公正かつ妥当なものであるか、次回、当該状況を確認させていただきたい。	

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 入札及び契約手続きの運用状況等の報告	
意見・質問	回答
(1) 金沢支社からの報告	
資格登録停止とは何の資格が停止されたのか。	当支社発注工事への参加資格を停止しました。
(2) 本社 契約審査部の報告及び審議	
<p>工事も調査も不調不落が減少傾向にあるが、工事の減少が背景にあるのか。</p> <p>競争入札の主旨からすると、入札者が1者しかないのはあまり望ましくないが、原因は何か。</p> <p>橋梁について建設した業者が補修を継続的に実施する仕組みはないのか。</p>	<p>発注手続きの改正や試行運用が減少傾向に繋がったのかどうか検証が必要ですが、単に工事の減少が背景とは考えていません。</p> <p>橋梁補修工事、道路付属物工事、トンネル非常用設備工事、交通情報設備工事等については施工できる会社が少ないのも一因と考えています。競争参加者を増やすため、発注ロットの設定や工事の規模、競争参加資格要件の設定など工夫して改善を図りたいと考えています。</p> <p>建設工事と補修工事で競争参加資格を分けています。ご意見は資格制度にも関係するので検討していきたいと考えています。</p>

2. 抽出案件の審議	
(1) 工事（一般競争入札）	
工事名：金沢支社管内 画像収集設備設置工事	
<p>NEXCO 中日本での製造実績がなくても応札できる仕組みなのか。</p> <p>災害時の協力体制はできているのか。</p> <p>金沢支社で災害応援協定を締結しているのは何社か。建設会社と設備会社の割合は。</p>	<p>当社の仕様書に基づき伝送交換設備を製造したことがある者、あるいは当社以外の実績では映像をデジタル符号化し蓄積する機能を有する装置を製造したことがある者としています。</p> <p>施設関係については災害時にグループ会社が初動対応します。災害応援協定を締結している会社は少ないです。</p> <p>当支社全体で60社と協定を締結しています。概ね土木工事関係の会社です。</p>

<p>災害応援協定はどのような内容か。</p> <p>実効性が伴った協定になっているのか。</p> <p>災害などによって生じたとはいえ抽出案件（3）のように入札を行わずに災害応援協定を締結した会社と契約したりしているため、協定の内容や加点などに合理的な根拠があるのかを確認する必要があると考えている。いずれかの機会にお示し願いたい。</p>	<p>地震・異常降雨による大規模災害で交通確保が困難となった場合に、速やかに交通確保を図るための協力要請に応じていただける会社と協定を締結しています。</p> <p>北陸地域に拠点があつて、実際に活動できる、地域に根差した組織体制をもつ会社と協定を締結しており、実際の災害の規模や状況に応じ協力いただいています。</p> <p>実効性のある仕組みになっていますし、具体的事例もごございます。また、災害時には特命契約とするわけですから、特命契約とし得るだけの合理的な理由を持っています。</p>
---	--

(2) 工事（公募併用型指名競争入札）

工事名：金沢支社管内 本線型自動計測装置設置工事

<p>指名した13者のうち12者が辞退しているが、辞退理由をアンケート等で調査したほうがいいのでは。</p> <p>NEXCOの積算金額と受注者の応札金額の差の原因は何か。</p> <p>この工事が特殊なのか、それとも今後積算方法を見直すなどの考えはあるのか。</p> <p>公募併用型指名競争入札を採用した狙いは何か。</p>	<p>これまでは全者辞退や、1者も入札に参加しなかった場合にアンケートを実施してきましたが、ご意見も踏まえ、1者入札の場合にもアンケートを実施するように検討したいと思います。</p> <p>受注者は外注先メーカーの見積金額を計上していますが、出張費はメーカーからの出張になるため、単価や人数が当社の積算より高くなっているのが原因です。</p> <p>確認協議で相手方に金額の差異の理由を確認したうえで契約しており、施工時には立ち会いで実態を確認し、実績で精算する仕組みとしています。当社の契約制限価格の設定においては積算要領を用いることが妥当と考えています。</p> <p>本件装置の工事は当支社管内で初めての発注で、入札公告が認知されない可能性があつたため、入札不調対策の一環で公募併用型指名競争</p>
--	---

<p>入札時、応札者は自分以外の者が辞退したことが分かるのか。</p> <p>本線型自動計測装置は何を計測するのか。例えば無人のスマート IC などから流入する重量オーバー車両がいるのか。</p>	<p>入札を採用しました。 公募併用により、指名よりも広く参加していただけることとなるため、より公正な契約制度と 考え採用しました。</p> <p>他の参加者の状況は知り得ません。</p> <p>走行中の車両の軸と軸の間の重さを計測する装置で、IC 入口をそのまま通過してしまう実態もあるため、当支社管内で初めて高速道路本線に設置するものです。 重量オーバーの車両は道路を傷めるため、抽出案件（1）の車両ナンバー読み取りも併せ、違反者への通知により取締りを強化します。</p>
--	--

(3) 工事（特命契約）

工事名：東海北陸自動車道 城端トンネル避難坑他 1 TN 応急復旧作業

<p>災害応急復旧の契約手続は、実際に行った工事内容に基づき費用を支払うという考えか。</p> <p>道路ののり面が崩壊した場合などの緊急時も同様の手続か。</p> <p>災害応援協定を締結している会社に発注しており手続的に問題ないとする。</p> <p>受注者への支払い方法はケースによって異なるのか。</p> <p>承諾書の提出日は令和元年 9 月 18 日とあるが当日から工事に着手したのか。</p>	<p>工事の緊急性から、工事着手が契約手続より先行しますが、当社の積算額と相手方の見積額に差がある場合は当社として妥当性を判断し調整しています。今回については双方で金額差は生じていません。</p> <p>災害応援協定を締結している会社に依頼し、緊急を要する場合の所定の手続きにより工事を実施し、速やかに復旧を図ります。</p> <p>本件は災害復旧なので完成時に一括で支払っています。</p> <p>緊急で安全を確保するため、承諾書提出の翌日に工事着手しています。</p>
---	--

(4) 調査等 (簡易公募型競争入札)	
調査等名：東海北陸自動車道 城端SAスマートインターチェンジ詳細設計	
「IS09001 の取得状況」はどの案件でも評価項目としているのか。	例えば抽出案件(1)でも評価項目の加点対象としています。
「IS09001 の取得状況」が抽出案件(1)では評価項目の3番目、本件では評価項目の1番目に記載されていて、本件では企業の体質を問題にしている印象を受けるが、実質的な差はあるのか。	評価項目の順番に意味はありません。
(5) 物品・役務 (一般競争入札)	
業務名：令和2年度 南条SA(上り線)駐車場交通整理業務	
実施場所は南条サービスエリアだけなのか。	各休憩施設の混雑状況に応じて実施しており、 昨年は8箇所を実施しています。
例えば、南条サービスエリアであればこの会社、 福井県であればこの会社、と決まっているのか。	入札にあたっては地理的条件と業務実績等を参加者に求めています。 今回は福井県警備業協会の各加盟社に入札公告をお知らせし広く入札参加を募っています。
交通誘導警備業務の有資格者を昼間も夜間も常時1名配置しなければならないのか。	必ず有資格者を配置することになっています。

注：再苦情処理会議及び再説明処理会議の議事録を作成する場合は、適宜項目の追加又は削除を行うものとする。